

平成 29 年 5 月 稲荷山図書館指定管理者連絡調整会議 議事要録

日時	平成 29 年 5 月 26 日（金） 13 時 50 分から 14 時 30 分まで
場所	光が丘図書館 第二会議室
出席者	<p>(1) 光が丘図書館（以下「光」） 管理係長、運営調整係長・係員（2）、事業統括係長、子供事業統括係長 ※光が丘図書館長は欠席</p> <p>(2) 稲荷山図書館指定管理者（株式会社ヴィアックス）（以下「稲」） 稲荷山図書館長、同館業務従事者、本社スタッフ（3）</p>
内容	<p>① 施設管理について</p> <p>（光）今年度は施設修繕等の予定はあるか。 →（稲）エレベータの改修については、区で対応していただいている。他では、自動ドアに異音が発生しているため、業者に来てもらい見積りを取っているところである。</p> <p>（光）正面玄関へ誘導する点字ブロックの上に自転車が置かれているという苦情があった。注意喚起の掲示等、対策をとること。 →（稲）承知した。</p> <p>（光）障害者用駐車場に図書館の電話番号を掲示したとのことだが。 →（稲）駐車場を利用するためには職員がポールを外さなければいけないので、利用者がカウンターに来る手間を省くために電話番号等、案内を掲示した。</p> <p>② 職員体制・会計収支について</p> <p>（光）今年度の職員体制について →（稲）基本的には昨年度と同様である。29 名程度で運営していく計画。</p> <p>③ 事業計画について</p> <p>（光）今年度力を入れていきたい事業等について →（稲）今年度は、指定管理期間 5 年間の最後の年に当たるということで、総仕上げの年と認識している。まずは、指定管理者となってから実施してきた、昆虫資料のデジタル化と、リニューアルした昆虫クイズ機「いなQ」について、より利用していただけるよう、利用者へのアピール方法について考えていきたい。また、所蔵している昆虫標本を一堂に集めた展示会を開催する予定。さらに、例えば「健康」など、一つのテーマについて世代別に実施していく講座を企画しているほか、地域で活動する団体との連携事業についてもこれまで以上に増やしていきたいと考えている。</p> <p>（光）周辺に緑が多いが、虫対策について →（稲）カウンターに市販の蚊取り機を置いている程度で対応できている。館内に入り込んだ大きな虫を虫取り網で取ったことはあるが、トラブルは特にない。</p> <p>④ 児童サービス事業について</p> <p>（光）子ども読書の日記念事業「はるのスペシャルおたのしみ会」について、参加人数が少</p>

なかったようだが。

→（稲）確かに昨年は今年の倍以上の参加があった。例年どおり館内にポスターを掲示したり近隣の施設にチラシを置いたりしたが、結果として参加者が減少してしまった。

（光）学校支援に関して、谷原中学校より「図書館が見違えるほど美しく機能的になった。新しい企画も取り入れ、生きた図書館になった」との評価をいただいた。学校支援の中で、児童・生徒を主体とした講座・事業やテーマ展示を企画してもらいたいと思うが、何か考えはあるか。

→（稲）中学校では、日程が合えば部活の生徒等に、図書館での企画や事業に参加してもらえるよう話をしている。28年度は、「ハンドタオルでマスコットを作ろう!」と題して、中学校の手芸部の生徒が先生となった子供向けの工作会を実施した。また、小学校の授業で書いた新聞を児童コーナーに展示したことがある。

（光）「あおぞらおはなし会」は以前から行っていたか。

→（稲）大型絵本やパネルシアターなどを中心にプログラムを組み、図書館の敷地内の屋外で実施するおはなし会で、3年ぶりくらいに開催し、18名の参加があった。図書館入口前の空いているスペースにブルーシートを敷いて実施し、いつもと違った雰囲気でのおはなし会となった。屋外でのおはなし会ということで、ピクニック気分が感じられるような「原っぱ」や「お弁当」等をテーマに、プログラムを工夫した。

（光）「いなりやまスタンプラリー」のねらいと参加状況について

→（稲）本の貸出しやおはなし会に参加するとカードにスタンプがもらえ、貯まると「どくしょノート」をお渡ししている事業。図書館への来館を促すことが目的で、スタンプラリーを開始した次の週のおはなし会は参加者が増えており、効果がある。達成者は想定より少なかった。

（光）どくしょノートについて

→（稲）今回初めて作成したもの。カウンター等で一般に配布する形式でなく、今回のスタンプラリーや、秋の読書ビンゴ事業等の記念品として配付する予定である。

（光）よみきかせの開催曜日について

→（稲）幼児・児童を対象としたよみきかせは、指定管理開始初年度は水曜日に実施していたが、人の集まりが悪かったため、2年目から土曜日に実施している。参加者としては未就学児が多いが、スタンプラリーを始めてから小学生の参加も増えている。

（光）独自に、小学生を対象に本の紹介は何かしているか。

→（稲）学校支援の中で、高学年・中学年・低学年向けに年間通して読んでもらえるよう、おすすめ本のリストを作成している学校もある。